

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	百貨店（企画担当）	・特選衣料品や宝飾品など、高額品の動きについても活発になってきている。
		その他サービス〔生命保険〕（営業担当）	・医療保障関連商品の新規契約件数が増加してきている。また、団塊ジュニア世代の年金保険の販売も好調である。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・少しずつながら、良くなっている実感がある。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・気温の低い日が続くので、単価の低い冬物商品が売れる。
		百貨店（売場主任）	・高額商品に対する購買意欲は、現状の株価が続けば変化はない。さらに、現状は景気が東高西低の状態にあることから、まだまだ大阪地区での売上には増加余地がある。1～2月は衣料品の季節変動の要素が大きく、売上が左右されるものの、基調としては単価上昇によって売上増となる。
		百貨店（経理担当）	・企業業績の好調がボーナスにも反映されるようになっており、今後は客にとって必要な物の購入が増える。また、株価の上昇も消費に好影響を与え、売れ筋はややグレードの高い商品へとシフトとする。
		スーパー（経理担当）	・競合店との価格競争で特売などが非常に増えていたが、客の間で、安さではなく付加価値の高い商品を買求める傾向がみられるようになり、高単価商品の動きが目立ってきた。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・男性用のスーツにかける金額が増加している。
		家電量販店（経営者）	・デジタル家電の販売増加で客単価が上昇するほか、トリノオリンピックの開催に伴って需要が増加する。
		家電量販店（店長）	・今年はトリノオリンピックやサッカーワールドカップが開催されるため、映像商品の売上が伸びる。
		乗用車販売店（経営者）	・車検や新車購入の予約が多くあり、先行きの不安が少し解消されてきている。
		乗用車販売店（営業担当）	・10月から年末にかけて落ち込んでいた反動と、2、3月に新型車が発売されるので販売量は伸びてくる。
		その他専門店〔医薬品〕（店員）	・客の動きをみていると、冬物商品、話題商品、新製品などの売行きが今後良くなる。
		高級レストラン（支配人）	・予約受注が早い時期から入り始めているほか、単価の上昇によって売上が増加する。
		観光型ホテル（経営者）	・銀行の貸出態度が少し変わってきたほか、いろいろな面で明るい雰囲気を感じられる。
		観光型旅館（経営者）	・設備投資を行っている旅館があり、その影響が出てきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・楽観視はできないが、現在の宿泊、宴会などの先行予約状況から上向き傾向とみられる。ただし、単価をどこまで上げることができるかは判断が難しい。
		旅行代理店（経営者）	・今後、賞与の増加や、株高の好影響は必ず出てくる。5月のゴールデンウィークの日並びも良く、悪くなる理由は見当たらない。
		タクシー運転手	・年末は季節的に客の乗車機会が増えたことを考慮しても、今後も引き続いて上向き傾向となる。
		タクシー運転手	・繁華街は静かな感じもあるが、多少良くなっているという話も聞くようになった。
通信会社（経営者）	・期末にかけて、各電話事業者の顧客獲得競争がやや激しくなる。		
通信会社（経営者）	・新規出店の予定がある。		
通信会社（社員）	・ケーブルテレビの加入は増えているのだが、ケーブルでのインターネット利用は微増である。総合的には、やや良くなるといった程度である。		
観光名所（経理担当）	・今月は例年になく大雪に見舞われ、月半ばから年末まで雪の日が多く、他県からの客もほとんどなかったことから、来客数、販売量共に前年比で20%ほど落ち込んだ。1月からは、当地を舞台とした大河ドラマが始まることから、昨年の愛知万博で減少した来客数を取り戻すことができる。		
その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	・出店数増加の効果が徐々に出てくる。		

	住宅販売会社（経営者）	・構造計算書偽装問題の影響は大変深刻であるが、それはどちらかという大規模建築物の問題であり、我々としてはマンションブームに代わる戸建て住宅ブームに期待している。不況でマイホームを買い控えてきた購買層が、景気の回復に伴う地価上昇を予測して、買い急ぐ動きも出てくる。
	住宅販売会社（従業員）	・構造計算書偽装問題で一時的な冷え込みとなっているが、需要は堅調であり、年度末にかけて回復する。
変わらない	商店街（代表者）	・厳しい寒波で重衣料の動きが良く、来客数が8%増加したが、商店街全体への客足は鈍く、年々閉店時間が早くなっている。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	・雑誌などで特集が組まれることもあり、腕時計の需要が増えてきている。そのほかにも、子供の塾通いが増えて時計が必要となるため、キャラクター時計が動く。
	一般小売店〔花〕（経営者）	・この冬の突然の寒さで、生花の仕入価格が上昇する傾向があるので、上向きとはならない。
	一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・昨年は震災10周年ということもあり、神戸の街は1月から結構にぎわった。平常に戻った今年は、ギフトなどで少し景気の上昇を感じる部分はあるものの、どの程度の変化が表れるのかは判断が難しい。
	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・ボーナス支給後も、客の購入意欲は上がっていない。寒さをしのぐための、必要に迫られた消費が大半である。年が明けると暖かくなる見込みであることから、売上は伸び悩む。
	一般小売店〔カメラ〕（販売担当）	・ボーナスが出た段階で、少しは明るくなることを期待したが、少しもそのような動きがない。客は堅実な考えであり、必要なときに、必要な物を購入している。
	百貨店（売場主任）	・気温により販売量が増減するという意味では現在好調であるが、来客数が増えているわけではないので、消費動向が良くなるとは楽観できない。
	百貨店（売場主任）	・増税や株価の動きとは関係なく、気温、気候によってファッションアイテムは動く。一方、クリスマスギフトの動きが良かったことから、バレンタインデーやホワイトデーなどのギフトモチベーションについては、例年よりも売上が増加する。
	百貨店（売場主任）	・紳士関連では、定年退職者を対象としたカジュアルアイテムは今後期待できるが、ビジネスアイテムは厳しくなる。また、子供関連についても今後売上は増加しない。
	百貨店（売場主任）	・内祝いの需要期に入るが、特定のメーカーの商品が売れる傾向はあるものの、全体的には変化はない。
	百貨店（営業担当）	・高額品やブランド品を買うよりも、身の回りの商品の中から、今までよりも高品質で、価格の若干高い商品を買いたいという傾向になってきている。
	百貨店（サービス担当）	・気候の変化により野菜などの価格が高騰するほか、灯油、ガソリンなどの燃料費が高騰する懸念はあるが、クリアランスセールでは冬物衣料などの売行きが好調に推移する。
	百貨店（統括）	・気温が低いいため冬物衣料の売行きが良く、在庫不足が懸念される一方、春物の動きが悪くなるので全体としては変化はない。
	スーパー（店長）	・1月に入り、2日、3日の客が昨年に比べて少ない。12月に単価が上がった分、買物が消極的になっている。
	スーパー（経理担当）	・昨年は好調を維持してきたが、年が改まってこのペースを保てるかどうかは不安である。季節的な動きが前倒しで起こった可能性があるほか、株価の上昇が続くかどうかは判断が難しい。
	コンビニ（経営者）	・大手コンビニエンスストアがいち早く飲料の値下げを打ち出したが、十分な訴求材料とはなっておらず、むしろ、その商品しか売れずに購買単価が低下している。ほかのコンビニエンスストアが出した低価格商品でも、その結果は明白となっている。商品価格を上げたり下げたりするのではなく、企画性、話題性で勝負することが必要である。
コンビニ（店長）	・プラス材料が乏しい一方、異常気象の影響で物価が上がるのが懸念される。	
衣料品専門店（経営者）	・今後、1月末まではバーゲンセールが行われるが、商品をあまり仕入れていないため、その後は売れる物がなくなり、2、3月の売上は厳しくなっていく。	
住関連専門店（経営者）	・業務用品の引き合いが弱く、近い将来に販売が回復する見込みがない。	

	住関連専門店（店長）	・この12月は、昨年と比べると客の財布のひもが緩くなった手ごたえがあった。しかし、これが安定した状況として定着するかどうかは判断が難しい。	
	その他専門店 [印鑑]（店長）	・個人客の売上が依然として増えない。	
	観光型旅館（経営者）	・3月中旬までは寒さが厳しく、道路状況が非常に悪くなるので、厳しい状況になる。	
	都市型ホテル（役員）	・2、3月は休前日数が前年より少なく、売上は対前年比で若干落ち込むものの、回復基調に変化はない。	
	都市型ホテル（営業担当）	・宿泊に関しては、他社からも低価格のオフシーズン料金が出ており、アジアの団体などが流れている。取り込みが厳しい状況になっているが、入り込み状況は今のところ前年並みの水準である。 ・宴会に関しては、一般宴会の1、2月の入り込みが弱い。婚礼に関しては1月は好調であるが、2月は前年割れとなっている。	
	旅行代理店（広報担当）	・寒波の影響で漁に出られないため、カニ目当ての旅行へのキャンセルが出たり、店頭での新規申込の来店が減少したりと不安材料が多い。また、トリノオリンピックが始まると、自宅でテレビ観戦する人が増えることも懸念される。全体的には、今のような状況は変わらない。	
	タクシー会社（経営者）	・飲食や物の購入にお金をかけるという傾向が出てきているが、タクシー代という交通費は節約できるという雰囲気はまだまだ続く。	
	競輪場（職員）	・12月は降雪などの関係から入場者は減少したが、1人当たりの購入単価は低下傾向を脱し、低位ながら安定してきた。しかし、入場者数の増加傾向が表れない限り、回復を実感できない。	
	その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・野球シーズン前の時期であるが、コンサートや展示、販売関係のイベントが予定されており、例年並みの来客数となる。	
	住宅販売会社（経営者）	・銀行がタイミングを見計らって新たな不良債権処理を始めていくことから、市場のニーズに合わせた様々な商品供給が可能になる。	
	住宅販売会社（経営者）	・春先には、季節的な動きで若干活発になるが、根本的な底上げにつながる要素が見当たらない。特に、零細企業への物件、情報の流れが滞りがちである。	
	住宅販売会社（従業員）	・構造計算書偽装問題の今後の進展によっては、マンション購入の手控えが拡大する可能性もある。	
	住宅販売会社（総務担当）	・与党の平成18年度税制改正大綱では個人住宅関連には大きな減税がない一方、住宅取得資金贈与にかかる計算特例などが廃止される。	
	その他住宅 [展示場]（従業員）	・具体的に実需が増える要因が見当たらない。展示場は例年12月は来客数が減少するが、今年は雪の影響もあって、更に来客数が伸びていない。	
	やや悪くなる	百貨店（店長）	・地方では人口も減少に転じているなど、周囲の環境も含めて非常に厳しい。世間全体の景気は良くなっているようだが、この地域においては今後も厳しくなる。
		スーパー（経営者）	・これまで商品価格に原油価格の高騰は反映されてこなかったが、春の新製品発売時期である2、3月に合わせて価格を上げる動きが活発化する。その価格に慣れるまでは、消費者の買い控えが起こる。一方、年明けには生鮮相場が平常時の水準に戻る。
		スーパー（店長）	・現在の好調は気温の低下による影響が大きく、この状態を維持することは難しい。
		観光型ホテル（経営者）	・1～3月の予約状況は、前年よりもかなり低調である。地域や当社に関するマイナス要因は特に見当たらないが、なぜか予約の申込が少ない。
	悪くなる	商店街（代表者）	・年末の催しの結果をみていると、来春に期待するのは難しい。
		タクシー運転手	・タクシーの台数が増えたので良くなるはずがない。
企業動向関連	良くなる	建設業（経営者）	・案件の情報が既に来ており、あとは社内の体制をみて受注するかどうかを決めるだけである。その意味では買手市場であり、案件が多くなってきている。
	やや良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・通常の販売価格の値下げが行われる一方、新規事業の売上が増加する。

	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・得意先の来年の見通しによると、期待も含まれるが、徐々に良くなる。
	化学工業（経営者）	・まだ力強い動きではないが、新たな大口物件の話なども出始めており、そのうちのいくつかは成立してきているので、緩やかながら売上は増加する。
	金属製品製造業（管理担当）	・鉄材が高騰していたが、中国に流れていた分が少しではあるが余ってきている。韓国にも安い鉄材があると聞いているほか、スクラップの引取り価格も下がってきている。
	一般機械器具製造業（経営者）	・製鉄各社の設備投資がさらに活発化するようであり、ここしばらくは上向き傾向が続く。
	電気機械器具製造業（経営者）	・国内では競争がないほか、輸送機械、鉄鋼、電気機器といった業種ではユーザーの消費意欲もあり、好調に推移している。
	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・トリノオリンピック、サッカーワールドカップの開催を控え、薄型テレビなどの需要が一層増加する。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・11、12月は住宅ローン減税に関する駆け込み需要があったことで、年度末にかけては苦戦するが、得意先の営業情報を総合すると、年明けに比べると昨年並みの売上が確保できる。
	建設業（営業担当）	・各企業のリストラが一段落し、民間建設投資が回復している。また、建設業界を取り巻く不安のなかで、価格も重要であるが、信用と実績がより重視される傾向となる結果、建設業者の選別が起こる可能性もある。一方で、建設資材の価格上昇が懸念されており、引き続き厳しい受注競争が続く。
	輸送業（営業担当）	・2月に取引先の新規出店があり、その店の立地条件も良いので荷物量が増える。
	不動産業（営業担当）	・年末からの株価高騰の影響もあり、不動産の購入意欲が以前より高まっている。また購入の単価も以前に比べて、かなり上がっている。
	司法書士	・例年12月は事件数が多いが、先月に引き続き不動産の動きがあったほか、新規事業の開始もみられた。
変わらない	繊維工業（総務担当）	・売上は前年の20%ダウンで、景気の回復が感じられないままである。
	金属製品製造業（総務担当）	・原材料高の製品安といった状態が長く続いているが、製品価格への価格転嫁を進めなければ生き残れない状況になっている。
	一般機械器具製造業（経営者）	・現在3か月超分を受注済みであり、年度末時点での受注残がプラスとなる。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・大手企業からの今後3か月の受注量を見ると、横ばいで推移する。
	建設業（経営者）	・12月としては観測史上最も多い積雪による影響が懸念される。
	輸送業（営業担当）	・株価も上昇し、景気が良くなる傾向にあるが、物流業界では軽油の高騰もあり、まだまだ逆風が吹いている。
	金融業（支店長）	・運送業では、燃料の高騰がみられるほか、天候不順により物流のスケジュールがかなり遅れている。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・若い世代の活字離れといった購読数の伸び悩みが深刻である。今後、無読層の増加が懸念される。
	広告代理店（営業担当）	・特定のスポンサーで一時的に広告が増えたが、そのほかは変化がない。
	コピーサービス業（従業員）	・先日の記録的な寒気の到来による風雪被害は今回限りではない。一般的には暖房機器が例年になく好調な売上を示しているが、寒さの影響は外出の機会そのものを減少させる。今年の寒波による影響は、業界で明暗が分かれる。
	その他サービス業〔イベント企画〕（経営者）	・来春の案件に目立った動きがみられない。
	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・客はある程度の購入を済ませたことから、今後は安定した状態が続く。
	その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	・鉄鋼、商社といった業種の好況が伝えられているものの、そういった企業からはテレビCMへの出稿がない。
	やや悪くなる	繊維工業（総務担当）

		<p>金属製品製造業（経営者）</p> <p>その他製造業〔履物〕（団体役員）</p> <p>輸送業（営業所長）</p>	<p>・輸入品の価格低下で国産品との価格差がますます大きくなり、国内メーカーの工場稼働率が急激に低下している。</p> <p>・靴業界では、依然として中国を主としたアジア諸国からの低価格製品の輸入が増加しており、低価格競争、価格破壊が進んでいる。</p> <p>・燃料関係では来年度早々に再度値上げがあると聞いているので、今の好調は続かない。</p>
	悪くなる	繊維工業（団体職員）	<p>・原油の高騰などで、外注加工費のほか、ミシン系などの副資材がコスト増となるなか、原材料である綿糸も高騰しており、採算はより悪化する。ごく一部に日本製を求める声もあるが、輸入量は増加していることから、更に受注減となる。</p>
雇用 関連	良くなる	人材派遣会社（社員）	<p>・企業の採用意欲はおう盛であるが、派遣登録者数が伸びない。</p>
		職業安定所（職員）	<p>・有効求人倍率は2か月前に大きく低下したが、前月は低下した分を上回る回復をみせており、求人意欲に陰りがみられないことから、今後も更に改善していく。</p>
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	<p>・派遣社員よりも紹介予定派遣や正社員を募集する企業が目立ち始めているので、かなり良くなってきている。</p>
		職業安定所（職員）	<p>・大手スーパーの閉鎖や、公共工事の減少がみられる一方、業種によって差はあるものの、小規模の新規出店が複数予定されているなど、求人の動きが活発である。当分この傾向は続く。</p>
		職業安定所（職員）	<p>・派遣業への就職希望者が減少している。また、窓口での反応では、明らかに常用雇用を目指した就職活動となっており、1年契約、3か月契約などの契約社員の求人が無視される傾向が顕著である。</p>
	学校〔大学〕（就職担当）	<p>・4年生の就職活動も終盤であるが、採用予定数確保のため企業は求人情報の発信だけでなく、積極的に大学訪問を行うなど、情報収集や採用活動を継続していることをアピールしており、年明けの学生の動きに期待している様子が見られる。</p>	
	学校〔大学〕（就職担当）	<p>・来年度の採用環境は、学生にとって売手市場になる。</p>	
変わらない		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	<p>・証券、生保、損保といった金融関係の求人が活発になってきているが、ビルメンテナンスといった、そのほかのサービス業の求人があまり活発ではない。</p>
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	<p>・正社員の雇用は今後もあまり見込めず、契約社員や派遣社員などが主流になる。そのため、中高年層の募集は減ることから、若年層に好まれる媒体が中心になる。</p>
		職業安定所（職員）	<p>・求人数が伸びているものの、業種が偏っているほか、卸、小売業では正社員からパートへの移行が目立っている。求人数の伸びに伴い就職数も伸びているが、新規求職数の伸びは依然として落ち着いていないことから、今後の見通しは不透明である。</p>
		職業安定所（職員）	<p>・新規求人数は昨年を下回っているが、新規求人数は上回った。特に、請負、派遣業、タクシー業からの大量求人などが目立った。</p>
やや悪くなる		新聞社〔求人広告〕（担当者）	<p>・新聞広告の元旦紙面の出稿状況を見ると、ほとんど前年と変わらない。一方、1、2月の広告出稿は前年を若干下回っているなど、景気の回復は感じられない。</p>
悪くなる		-	-